



エールで歓迎も

東北新幹線

春の大型連休に合わせを膨らませた。東北の大動脈が帰って

(一面に関連記事)

市の会社員須藤貴子さんが合つて良かった」と語

きた。29日、東日本大震災 新青森駅に午前11時9分、分断されたJR東北分、東京発の一番列車が、新幹線が全線復旧。乗客到着。青森高の生徒がエールで出迎えた。東京からは歓迎し、沿線の観光地エールで出迎えた。東京からはにぎわいの復活に期待。弘前市に帰省した横浜

震災から50日目に全線復旧した東北新幹線。「はやぶさ」も運転を再開した。29日午前10時50分、JR仙台駅

青森県では、大型観光宣伝活動「青森アステーションキャンペーン(DC)」が23日に始まった。青森DC推進委員会の林光男会長は「全線復旧でDCに弾みがつく」と期待をかけた。

はやぶさも運転を再開し、仙台駅では親子連れらがカメラを構え、到着を待った。

東京都杉並区の主婦山下香代子さん(50)は夫が仙台に単身赴任している。「震災後初めて仙台に来た。はやぶさに乗ったのも初めて。徐行の時もあったが、快適だ」と述べた。

さいたま市の会社員男性(40)はサッカー観戦で訪れた。「観戦するかどうかは新幹線次第だったのでうれしい。宮城県松島町の友人宅もお見舞いに訪ねたい」と会場に向かった。

東北新幹線は本震と余震で1750カ所の設備に被害が出た。JR東日本の清野智社長は連休期間として最後に残った仙台一ノ関間を視察するため、仙台発の下り一番列車に乗った。「復旧作業に当たった人に感謝する。東北、日本を元氣にしたい」と話した。